

がん死亡数順位

女性 3位



がん死亡数順位

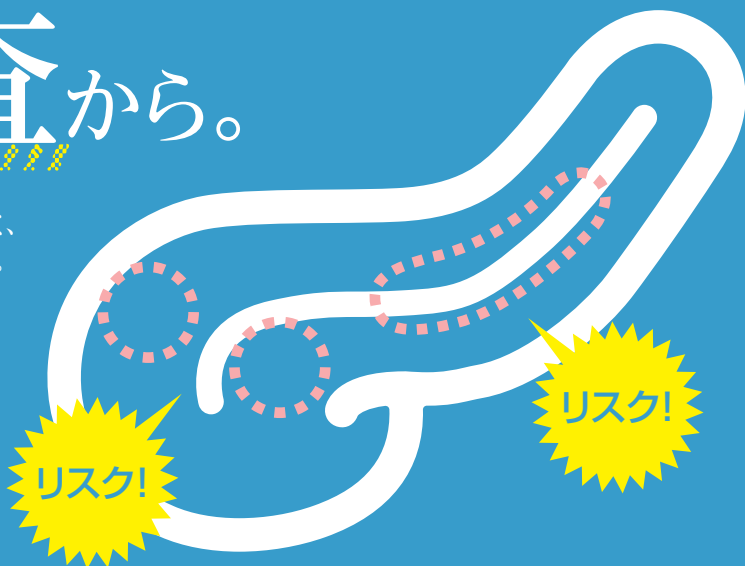
男性 5位



発見が難しいすい臓がんは、 リスク検査から。

「すい臓がん」は、がん死亡数順位が女性3位、男性5位(注)と高く、かなり進行した状態でも自覚症状が乏しく、発見が遅れがちです。また通常の健診や人間ドックなどでも早期発見が難しく、診断された時点では手術が難しいことも多いがんです。淳風会健康管理センターでは、すい臓がんの早期発見のためにリスクとなる所見を複数の検査を組合わせて拾い出し、速やかに専門医療機関に紹介、精密検査、経過観察を受けていただくことをお勧めします。

(注)データ出典：国立がん研究センターがん情報サービス[最新がん統計]、2017年



淳風会健康管理センター

すい臓がんリスク検査コース

のご案内

料金：¥35,000(税別)

1日目

腹部MRI (MRCP)検査
腫瘍マーカー(CA19-9、エラスターゼ1)

2日目
(午後)

すい臓に特化した
超音波検査

ポイント1

MRI(MRCP)検査の結果に基づいて、すい臓に特化した超音波検査を実施。

ポイント2

すい臓の超音波検査は日本超音波医学会認定の超音波検査士によって行われます。

ポイント3

もしも異常が見つかった場合は、速やかに提携の専門医療機関をご紹介します。

「すい臓がんリスク検査コース」に関するお問い合わせ

健康を支える



一般財団法人 淳風会
淳風会健康管理センター
JUNPUKAI HEALTH MAINTENANCE CENTER

予約専用
ダイヤル

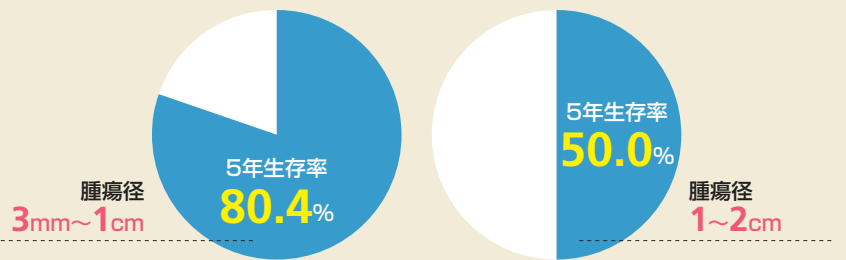
050-3163-0002

[予約受付時間] 平日/8:30~16:30 土曜日/8:30~12:00 [休診日] 日曜日・祝日

腫瘍径1cm以下なら、5年生存率80.4%

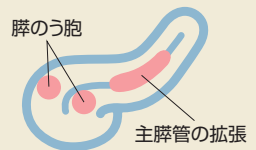
早期に見つかっても生存率が低いと言われるすい臓がんですが、腫瘍の径が1cm以下の場合、5年生存率は80%以上と日本膵臓学会からの報告(2012年)があります。

出典：日本膵臓学会 膵臓診療ガイドライン改訂委員会
「患者さんのための膵がん診療ガイドラインの解説」
(金原出版、2015年)

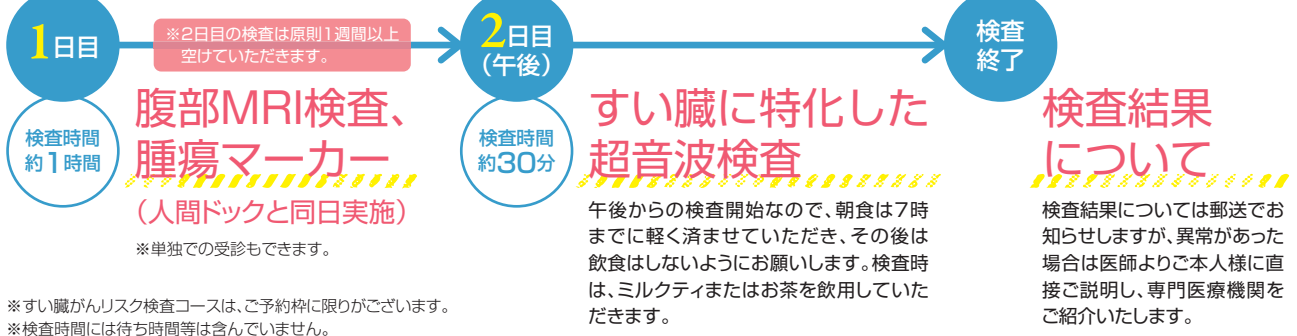


まずは、すい臓がんのリスクを検査することから。

発見が難しいすい臓がんは、そのリスクとなる所見を見つけることが大切です。すい臓がんの多くは、膵液が流れる管である「膵管」に発生します。診断の契機として軽微な主膵管の拡張や膵のう胞性病変が重要です。淳風会健康管理センターの「すい臓がんリスク検査コース」では、膵管の拡張、膵のう胞をMRI(MRCP：膵管造影検査)や日本超音波医学会認定の超音波検査士による超音波検査によって描出することを目指しています。



「すい臓がんリスク検査コース」検査内容・スケジュール



一般財団法人 淳風会 淳風会健康管理センター すい臓がんリスク検査コース申込書

この用紙をそのまま送信ください。

FAX.086-226-8251

(ファクシミリ送信)

フリガナ () お電話番号

お名前

生年月日 昭和・平成 年 月 日 性別 男性・女性

〒 住所

※ご受診日については、FAX受付後、淳風会からのお電話で確定させていただきます。

※心臓ペースメーカーをご使用の方、術後で体内に金属が入っている方、V-Pシャント(脳室腹腔シャント)をされている方、マスカラ、カラーコンタクトをされている方など、MRI検査を受けることができない場合があります。詳しくはお問い合わせください。 ※胃の切除術を受けられた方は適していません。

FAXをお持ちでない方は、表面の予約専用ダイヤルよりお電話にてお申し込みください。

■個人情報について…ご記入いただいた個人情報は利用目的を超えた使用はいたしません。
※一般財団法人 淳風会では、2017年5月30日の「改正個人情報保護法」の施行に伴い、個人情報保護方針(ポリシー)を制定し、お客様の個人情報を慎重に取り扱い、プライバシー保護に努めています。



一般財団法人 淳風会は、経済産業省より「健康経営優良法人2019(大規模法人部門)~ホワイト500~」に認定されました。今後も地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、健康経営に組織全体で取り組んでまいります。

